

※本資料は2023年3月31日時点の内容です。

新しい当たり前をつくり
女性が働きやすい社会を

Femtech

経済産業省

フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金

概要紹介資料

フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金事務局
(PwCコンサルティング合同会社)

目次

01	 本補助事業の概要	… P3
02	 実証事業一覧	… P6
03	 事業の成果	… P8
04	 お問い合わせ先	… P22
appendix	実証事業の詳細	… P24

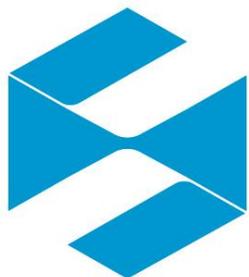
01 | 本補助事業の概要 1/3

「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」とは

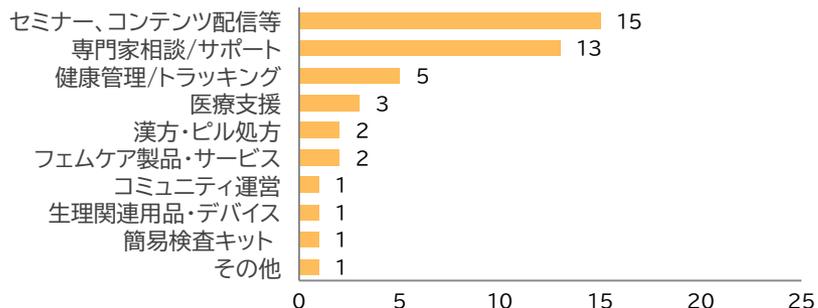
経済産業省は、働く女性の妊娠・出産・更年期障害等のライフイベントに起因する望まない離職等を防ぎ、個人の幸福(Well-being)や企業の人材多様性を高め、中長期的な企業価値の向上を図るフェムテック等サポートサービス実証事業費補助金を令和3年度より開始しました。

実証1年目であった令和3年度は、全国各地の企業や自治体、医療機関等とフェムテックに取り組む企業が連携し、女性特有の健康課題の解決に向けた様々な施策が実施されました。実証2年目となった令和4年度は、実証事業のバリエーションのさらなる拡大を目指し、開発～活用する技術の多様化をはじめ、さらに新規性・独自性に富んだ事業が採択され、取組を進めました。

各実証事業では、「セミナー、コンテンツ配信等」の“知る”ことを推進するものから、「専門家相談/サポート」、「漢方・ピル処方」等、実際に健康課題を解決するもの、医療機関の活動を支援するシステム提供等の「医療支援」まで、多様なサービスが開発～活用されました。

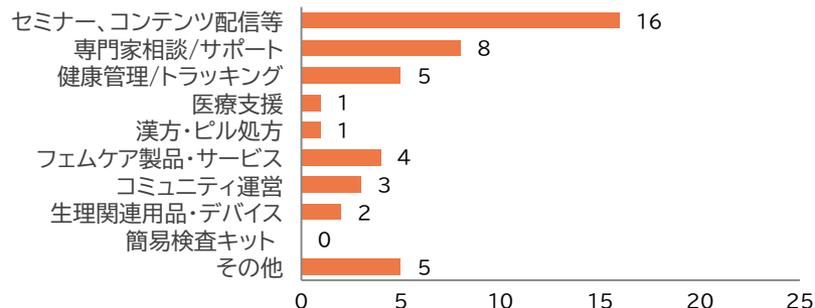


令和3年度:サービスカテゴリ(事業単位)



※事業ごとに該当するカテゴリを事務局にて分類の上集計
※その他:乳がん患者向けシリコンパッド

令和4年度:サービスカテゴリ(事業単位)



※事業ごとに該当するカテゴリを事務局にて分類の上集計
※その他:コーチング、次世代EMS等

そもそも、フェムテックって何？

フェムテック(Femtech)は、「Female」と「Technology」を掛け合わせた造語で、女性が抱える健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスなどを指します。本補助事業におけるフェムテックは、女性がライフステージに応じて抱える健康の課題解決に資するもの全般を指し、技術を利用したものに限っていません。

<https://www.femtech-projects.jp/>

詳細はこちら >

01 | 本補助事業の概要 2/3

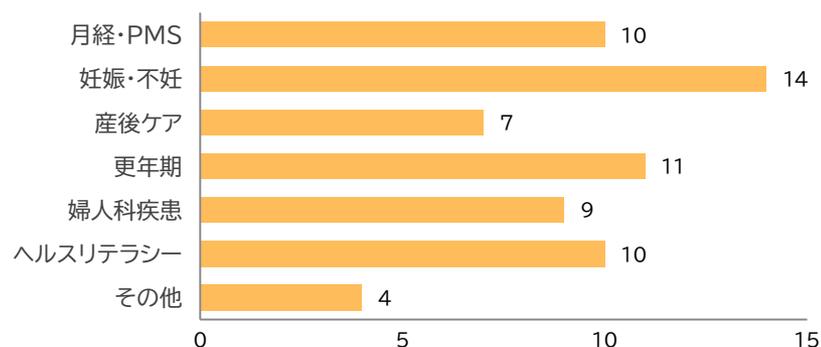
主な事業テーマ

女性特有の健康課題のテーマは主に以下のように分類され、実証事業ではこれらの解決にさまざまな角度から取り組みました。

月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー
<p>月経に伴う月経痛や月経前症候群(PMS)の緩和に関するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータ活用 ▶ PMSや月経痛を緩和する低用量ピルのオンライン処方 等 	<p>妊娠への準備や不妊治療等に関するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ モバイル型胎児モニターによる遠隔妊婦健診サポート ▶ 不妊治療の成功者のデータを参照できるアプリ 等 	<p>出産後の母体が回復するまでの期間を支援するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 助産師のサポート付き産後ケア宿泊施設 ▶ 健康・子育てに関する専門家へのオンライン相談 等 	<p>閉経前後の約10年間を指す更年期に生じる各種不調の緩和に関するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 更年期に特化したオンラインクリニック ▶ 更年期症状に用いられる漢方処方 ▶ 更年期症状を緩和するウェアラブルデバイス 等 	<p>子宮筋腫、乳がん、子宮頸がん等の発見～治療後のサポート等に関するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 乳がん患者用シリコンパッド開発 ▶ 婦人科疾患について気軽に相談できるチャットサービス 等 	<p>健康に関連する正しい情報の収集・活用の支援に関するサービスを展開</p> <p>事例:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性特有の健康課題について知ることのできる小冊子や動画コンテンツ ▶ 正しい知識を学び行動に繋げる講座 等

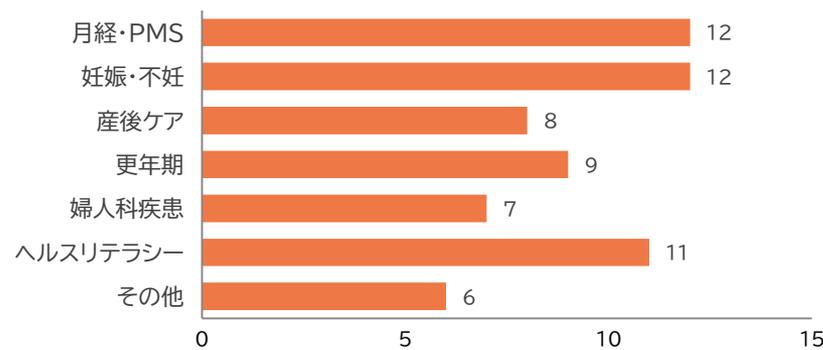
※その他:メンタルヘルスケア、キャリア支援 等

令和3年度:事業テーマ(事業単位)



※各事業がそれぞれ選択した事業テーマ(複数選択可)を集計

令和4年度:事業テーマ(事業単位)

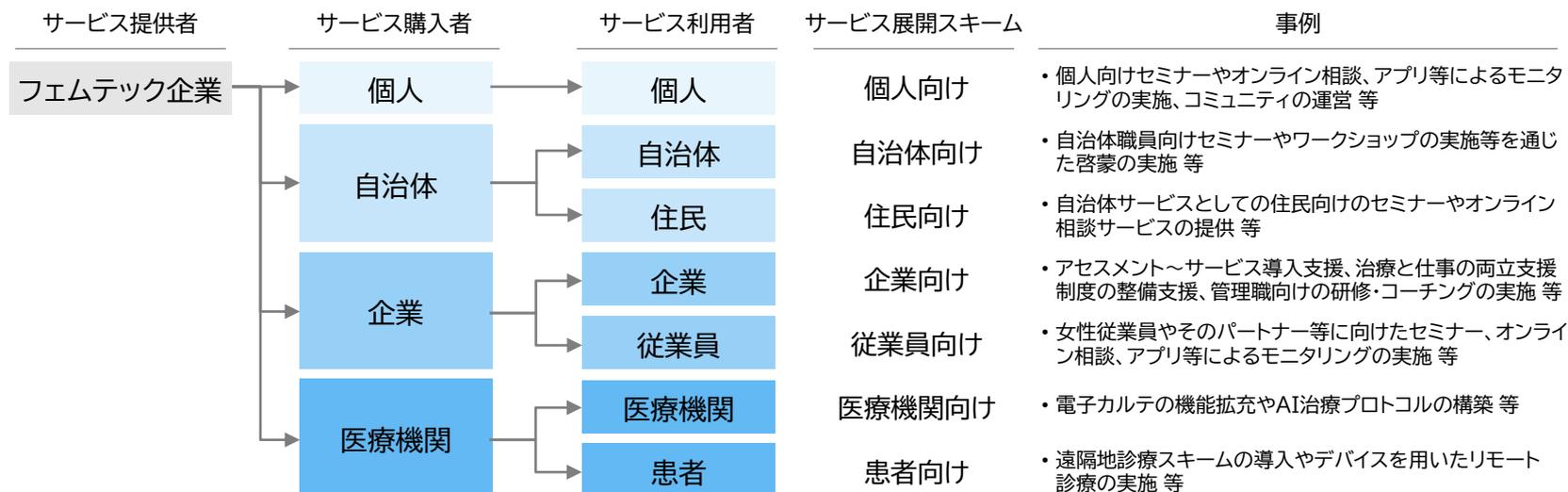


※各事業がそれぞれ選択した事業テーマ(複数選択可)を集計

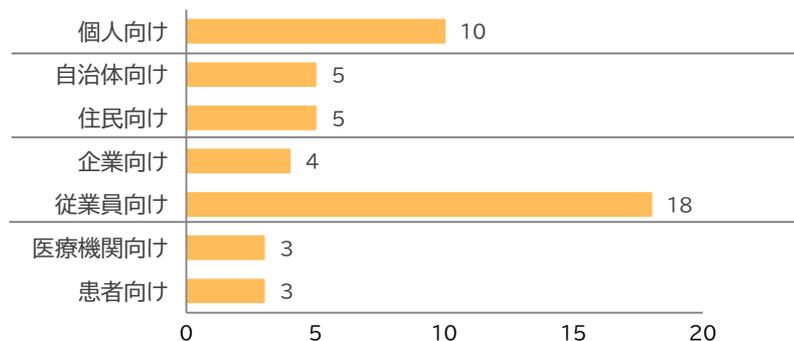
01 | 本補助事業の概要 3/3

サービスの展開スキーム

実証事業では、サービス購入者(自治体、企業、医療機関)等を通じて、多様なルートでサービスの利用者(エンドユーザー)までサービスが届けられました。

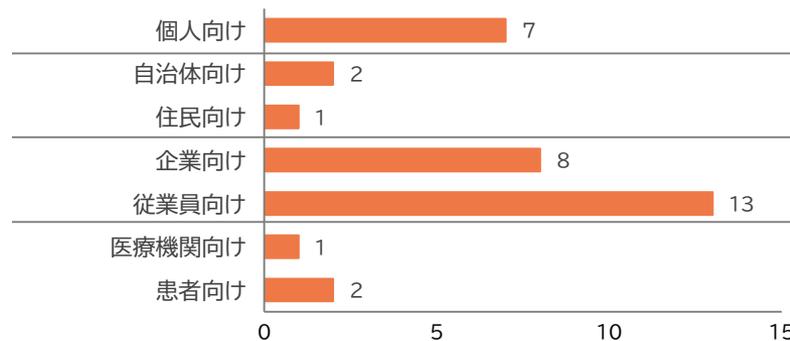


令和3年度:展開スキーム(事業単位)



※事業ごとに該当するカテゴリを事務局にて分類の上集計

令和4年度:展開スキーム(事業単位)



※19事業ごとに事務局にて分類の上集計

令和3年度に採択された実証事業の一覧はこちら！
事業内容の詳細はP25～をご参照ください。

02 | 令和3年度の実証事業一覧

#	事業名	代表団体名	事業テーマ						
			月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
01	働く女性が乳がんを経験しても変わりなく働くことのできる場所の提供・雇用と、価格・着心地共にストレスフリーな国産パッド開発	アボワールインターナショナル株式会社						●	
02	大企業および中小企業の従業員を対象としたライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業	株式会社With Midwife	●	●	●	●	●	●	
03	潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業：「The CARE for Community」実証実験	株式会社With Midwife		●	●				
04	女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業	一般財団法人ウェルネスサポートLab	●	●	●	●	●	●	
05	不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、および、不妊治療啓発の動画コンテンツ作成	vivola株式会社		●					
06	働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証	株式会社Kids Public	●	●	●	●	●	●	
07	産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関するオンライン相談事業	医療法人葵鐘会	●	●	●	●	●	●	●
08	法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業	社会医療法人博愛会 相良病院	●			●	●		●
09	生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決	シャープ株式会社	●					●	
10	働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業	株式会社ジョコネ。				●		●	
11	生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ診療支援システム開発	株式会社シンフォニア		●					
12	妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業	株式会社ステルラ		●					
13	更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携	株式会社TRULY				●		●	
14	女性のライフプランとキャリアの両立支援事業	株式会社ninpath		●					
15	個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業	株式会社陽と人	●	●	●	●	●	●	
16	自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙	株式会社ファミワン	●	●		●	●	●	
17	日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス							●
18	女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する健康課題改善プラットフォーム事業	丸紅株式会社	●	●		●		●	
19	周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業	メロディ・インターナショナル株式会社		●				●	
20	女性従業員と企業へのファンストップソリューション伴走支援による女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業	株式会社SUSTAINABLEME	●	●	●	●	●	●	●

令和4年度に採択された実証事業の一覧はこちら！
事業内容の詳細はP30～をご参照ください。

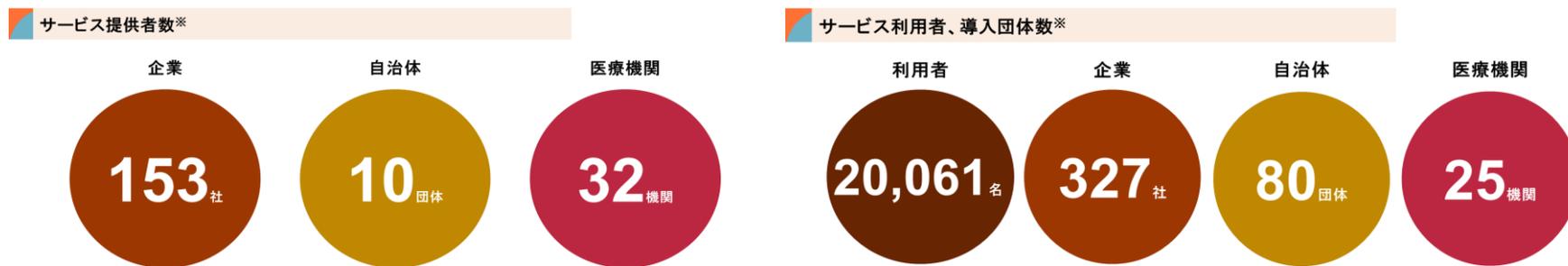
02 | 令和4年度の実証事業一覧

実証事業		事業テーマ							
#	事業名	代表団体名	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
01	最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するAI(人工知能)サービス	株式会社iCaret		●				●	
02	セルフトレーニングをサポートする「ベリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング	アルプスアルパイン株式会社			●	●	●	●	
03	妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進ソリューションの効果検証	vivola株式会社		●					
04	ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』	株式会社SRACreative	●			●	●	●	●
05	働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業	沖縄セルラー電話株式会社				●			
06	あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上	オモテテ株式会社	●	●			●	●	●
07	新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証	株式会社Kids Public	●	●			●	●	
08	オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業	株式会社産業経済新聞社	●	●	●	●	●	●	
09	就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業	株式会社じょさんし GLOBAL Inc.		●	●				
10	助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験	株式会社水星		●	●				
11	女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する『TOTONOERU®(トトノエル)』を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業 Ver.1』	株式会社天煌堂	●		●				●
12	未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供	東レ株式会社	●					●	
13	データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業	株式会社nanoni	●	●	●	●	●	●	
14	不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業	株式会社ninpath		●					
15	フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業 ～gender learning innovation～	株式会社陽と人	●	●		●		●	●
16	アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業	株式会社BRING	●	●	●	●		●	
17	身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション	●	●	●	●	●	●	●
18	運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業	株式会社ボーラ・オルビスホールディングス	●			●			●
19	女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業	わたしの暮らし研究所株式会社	●					●	●

03 | 事業の成果

令和3年度・令和4年度事業の参画者数

令和3年度および令和4年度事業では、152の企業、11の自治体、30の医療機関が関与し、多種多様なフェムテック等サポートサービスを提供しました。サービスの利用者は合計20,061名にのぼり、320の企業、95の自治体、23の医療機関がサービスを導入しました。



※39の実証のサービス開発～提供に関わった団体の総数。数値は2023年3月10日時点のもの。このほか、学校法人や個人等25者も関与。

※数値は2023年3月10日時点のもの。いずれも延べ数。このほか、労働組合等4者も導入。

令和3年度・令和4年度事業の実施成果

フェムテック等サポートサービスの利用による「短期的な成果」と「中長期的な成果」の測定を試みました。本資料では、主な成果として、令和4年度事業の利用者の定量的な変化、令和3年度事業の利用者・導入団体の声をご紹介します。

種別	方法	取得した情報
短期的な成果 令和4年度事業の利用者の定量的な変化	共通指標を用いた成果測定	仕事におけるパフォーマンスの変化、働く女性の望むキャリアの形成に向けた意識・行動の変化 等
中長期的な成果 令和3年度事業の利用者・導入団体の声	インタビューによる成果抽出	上記に加え、働く女性の周囲の関係者の意識の変化、経営層の意識の変化、組織全体のパフォーマンスの変化 等

03 | 令和4年度事業の利用者の定量的な変化

事業の成果測定の概要

「フェムテック等サポートサービスの活用により、働く女性のWell-beingを高める」という本補助事業の目的の達成状況を事業全体で測るため、令和4年度からは、以下の共通指標を用いて、サービス利用前後の利用者の変化を測定しました。

	共通指標①:主観的プレゼンティーズム	共通指標②:キャリア形成
指標設定の考え方	利用者の主観的Well-beingの状態を確認するため、WHO Health and Work Performance Questionnaire※の設問B9-11を活用	利用者の自身のキャリア形成に係る意識・行動の状態を確認するため、本補助事業独自の指標を設計
測定項目	仕事上のパフォーマンスについて、 <ul style="list-style-type: none">✓ 絶対的プレゼンティーズム✓ 相対的プレゼンティーズム	女性特有の健康課題について、 <ul style="list-style-type: none">✓ 健康課題がキャリアに及ぼす影響度の認知✓ 解決策/緩和策の認知✓ 解決策/緩和策の実施✓ 解決策/緩和策実施のアウトカム✓ 他者・組織への相談先の認知✓ 他者・組織への相談の実施✓ 他者・組織に向けた相談実施のアウトカム

※世界保健機関 健康と労働パフォーマンスに関する質問紙(短縮版)日本語版 [riomh.umin.jp/lib/WHO-HPQ\(Japanese\).pdf](http://riomh.umin.jp/lib/WHO-HPQ(Japanese).pdf)

フェムテック等サポートサービスの活用により、どのような変化がみられるかを測定

測定結果

- 19事業全体でみたとき、共通指標①②のすべての測定項目において平均値の上昇を確認
- 共通指標①について、絶対的・相対的プレゼンティーズムとも平均値が上昇し、損失割合が減少
- 共通指標②において、意識・行動・アウトカムそれぞれについて平均値が上昇

フェムテック等サポートサービスの活用が、働く女性のWell-beingの向上や、キャリア形成に良い影響を与えている可能性がある、という示唆が得られた

03 | 令和3年度事業の利用者の声

#個人向け

#オンライン相談

#健康課題全般

利用者インタビュー①

個人向けにオンライン健康相談サービスを実施した一般財団法人ウェルネスサポートLab(以下、ウェルサポ)の実証に参加された3名の方にお話を伺いました。

※以下、インタビューを実施した令和4年12月時点の情報です。

CASE
01

ウェルサポ実証参加者

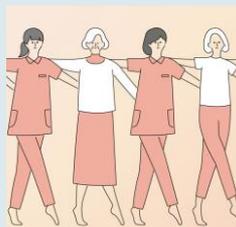
脇田 麻衣さん

山下 美紗さん

又木 明子さん

一般財団法人ウェルネスサポートLab

女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業



ウェルサポでは、フレンドナースチャットサポート(LINEでの看護師等によるオンライン相談)による女性の意思決定支援を通じて女性を取り巻く健康課題を抽出し、課題解決のための社会的要件を整理しました。また、産官学連携の検討委員会を開催し、働く女性の抱えるニーズや課題を特定し、それらをもとに啓蒙・啓発事業を実施しました。

サービスを利用したきっかけは何ですか？

山下さん:知人からの紹介がきっかけでフレンドナースチャットサポートの利用を始めました。更年期に伴う症状をどのように迎え入れるか悩んでおり、個人として使い始めたのですが、これは自社のメンバーにも必要な支援なのではと気づき、のちに社としてもサービスを導入しました。

脇田さん:私も知人からの紹介がきっかけです。20代後半からPMSが重く、また親の介護等生活上でも様々な課題を抱えていたところ、このサービスが女性特有の健康課題だけでなく日常生活の様々なテーマで相談が可能なのであると知り、自身にぴったりだと感じました。

又木さん:更年期症状の一環なのか、気持ちが落ち込みやすくなった時期があり、その際ウェルサポの代表の笠さんからこのサービスを紹介いただいたことがきっかけです。LINEで簡単に相談できるということもあって、躊躇なく利用を開始できました。



左から脇田さん、又木さん

03 | 令和3年度事業の利用者の声

利用者インタビュー①

サービスはどのように活用しましたか？

山下さん:体調が優れなかった際、そもそもその症状で通院した方がよいのかや何科に行くのがよいのかがわからず、フレンドナースに相談したところ、受診勧奨のうえ症状に即した近所の医療機関を複数紹介いただき、大変助かりました。フレンドナースからの返信はいつも自然でかきこまった雰囲気はなく、雑談も含め楽しくやりとりできています。

脇田さん:私も同様に、体調不良時に通院要否等の相談に乗ってもらいました。また、健康診断の検査結果の読み方がわからず、フレンドナースと一緒に見ていただいたことがありました。結果、腎臓の追加検査の提案を受け、受診行動につながりました。

又木さん:自身の心のことや家族のことなど、周囲には話しづらい悩み事についても相談に乗ってもらっています。利用した際には、気持ちに寄り添った返信をいただき、気持ちが非常に楽になります。小さなことでも、相談ごとがある度に利用しています。

参加後、自身に起きた変化があれば教えてください。

山下さん:チャット相談を重ねていくうちに、自身に疲労が溜まっていることに気づきました。私には頑張りすぎてしまう傾向があったのですが、このサービスを利用し始めてからは強い自分であることをやめ、楽な気持ちであることを受け入れられるようになりました。最近では、職場の皆さんに、いつも楽しそうだね！と言われるようになり、自然体で働くことができるようになっています。仕事で関わる同僚にも、きっとよい影響が波及しているのではないかと思います。これは、自分にとって大きな変化ですね。

脇田さん:自身の弱い部分も、周りに共有できるようになりました。以前は体調が悪くても、会社ではそれを隠すように振る舞っていました。最近では家族にも健康に関する話をするようになり、フレンドナースにいただいた情報を踏まえ、家族間で病院等の情報共有をするようにもなりました。

又木さん:私は、家庭の中では、常に自分が強く元気だと思われていたい人です。家族に何かを心配されてもつい大丈夫と返していますが、フレンドナースからストレスを溜めているねと声をかけてもらい、弱い自分を認めてもらえる場所ができたと思いました。もう一つの居場所ができたことは、貴重です。

また、振り返ってみると、子どもが小さい頃は子どもの体調が揺らぐたびに、治るまで不安でした。あの時にもしこのサービスがあれば、病院に連れていくべきかなど、きっと気軽に相談ができたのだろうと思います。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

利用者インタビュー①

お勤めの会社でもサービスを導入されたとのこと。導入のきっかけとその後の社内の変化を教えてください。

山下さん:フレンドナースチャットサポートの活用を通じて、自社がより働きやすい職場に進化していくことを期待し、導入を決意しました。多くの職場においてまだそうだと思うのですが、月経・PMSや更年期などの女性特有の体調不良については、なかなか同僚には伝えにくいものですよね。自身の体調を正直に会社に相談することで評価や配置などに響いてしまうのではないかと不安に思う方もいるでしょう。そのような職場でのコミュニケーションや自身の体調などについて看護師等の専門性を踏まえたアドバイスを授けてくれるフレンドナースに相談することは、自社の女性社員にとっても、どのようにふるまうのがよいかの判断の助けになるのではないかと考えました。

サービスについては実際に社員からも好評で、フレンドナースとのチャットを楽しんでいる様子も見受けられます。サービスの導入継続を切望する声も聞こえてきているところです。

今後は、利用者の事例の共有等を通じて、より多くの社員が気軽にサービスを活用することができるようフォローしていくとともに、日常的に自身の健康に意識を向け労わり合うことのできる職場環境づくりを推し進めていきたいと思えます。



山下さん

ウェルサポ代表 笠さんから、最後に一言

ウェルサポは、当時利用者であったホスピタリティ精神旺盛な90代のご婦人が「健やかな未来を次世代に」という思いから、2020年1月に設立され、当初より健やかな地域社会の実現に向けて「かかりつけナース制度」の普及と共に活動を進めてきました。

多くの皆さんにかかりつけナースのいる心地よい暮らしを体験していただくことで、健康的に持続的に自分らしく働ける社会づくりを目指しています。



ウェルサポ理事 菊池さんから、最後に一言

「祖母らしい最期」を目の当たりにし、ナースの道を志しました。福岡赤十字病院17年在籍中に様々な科で様々な経験をさせてもらう中で、患者さんの健やかさはそのご家族の健やかさに繋がっていることを実感しています。

フレンド(かかりつけ)ナースとなって早三年が経ちますが、利用者の皆さんとの会話を通して、健康的な暮らしをサポートできていることに喜びを感じる毎日です。



03 | 令和3年度事業の利用者の声

#個人向け

#オンライン相談

#妊活・不妊

利用者インタビュー②

自治体を通して、住民向けに妊活・不妊治療の当事者向けサポート等を実施した株式会社ファミワン(以下、ファミワン)のサービスを導入された、青森県東北町 保健衛生課の大久保さんにお話を伺いました。

※以下、インタビューを実施した令和4年12月時点の情報です。

CASE
02

ファミワンサービス利用自治体

青森県東北町
保健衛生課

大久保 恵子さん(保健師)

青森県東北町 保健衛生課

青森県上北郡の中央部にある人口1万7000人程の自治体。保健衛生課は妊娠・出産・子育て期の支援・また成人の各種健康診査事業等、町の健康づくり全般を主管している。インタビューにご協力いただいた大久保さんは保健師として主に母子保健事業を担当。

株式会社ファミワン

「自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙」事業

LINE を使った妊活・不妊治療のサポートサービスを、妊活をしている方・不妊治療を受ける方・これから妊活をしようと考えている方などへの提供するとともに、自治体や企業との連携をより強化して、社会を変えるアクションを推進。



導入したきっかけ・目的は何ですか？

私は、NPO法人女性医療ネットワーク主催の「女性の健康づくり学校」の講座を1年間受講し、「女性の健康を後押しすることは経済活動の活性化につながる」ということを学び、深く興味を持っていました。そんな中、ファミワンが令和3年度に実施した女性活躍セミナーの案内を受けたことがきっかけで、ファミワンが行っているサービスを知ることができました。

東北町では従来より、妊娠から出産、子育てにおいては手厚く様々な支援を行って来ました。「切れ目のない支援」がひとつのテーマになっていますが、そう考えたときに、妊娠前の方にも何かできることはないかという課題感を持っていました。この課題解決のために、同社のサービスがぴったりではないかと考え、令和4年度に向けた予算要求を行いました。ちょうど町議会でも不妊治療について質問が出されたことがあり、そのこともサービス導入の後押しとなりました。令和4年度はふるさと再生基金を活用し事業を運営しています。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

利用者インタビュー②

取組の内容やその中で苦勞した点を教えてください。

令和4年度からサービス提供を開始しています。サービスの運用自体はファミワンに担っていただき、私たちは、ファミワンの担当の方と相談しながら、町民の皆さまに広くこのサービスを知ってもらい、利用につなげていただくための広報を実施しています。2人目不妊に悩む方にアプローチするため保育園にチラシを置き、お申込みにつながったケースがあります。また、若年層にも月経や妊活のことを知ってもらうため、若年層向けのチラシを作成し、成人式で配ることを予定しています。

苦勞したというよりも、予算要求の際に「保健師が相談を受ければ良いのではないか」という指摘がありました。その際は「利用者にとって、不妊治療というデリケートな内容を対面で相談することはハードルが高い。LINEで気軽に専門家に相談できるという点で、本サービスを導入することはメリットが大きい」と説明し、理解を得ました。

町民や庁内からの反響はありましたか？

まだ利用者は少ないものの、町民の皆さまからは、よい反応をいただいています。現在、利用者を東北町在住の方に限っていますが、今後は東北町で働いている方(東北町の小中学校の先生等)にも対象を広げ、さらに多くの方にサービスを使っていただける形にしたいと考えています。

課内においては、この取組をきっかけに、職員の女性の健康課題に関するリテラシーが徐々に高まってきていると感じます。保健師の間でも、女性特有の健康課題解決に資するフェムテックについての学び合いを進め、よりよい住民サービスを提供できるよう切磋琢磨していきます。

今後への期待があれば教えてください。

地方によっては産婦人科医が少ないもしくは近くに存在しないこともあり、女性が生涯にわたる健康の相談先として産婦人科のかかりつけ医を持つことが難しい状況です。同サービスが一次相談先として普及し、正しい受診勧奨につながることを期待します。また、女性を応援するこれらの取組が、ひいては東北町全体のさらなるまちづくりにつながっていくことを期待しています。

大久保さんから、最後にひと言

からだのことについては、専門家に相談することで、より適切な情報が取得でき、今後の見通しを立てることもつながります。妊活について、ちょっと相談してみたいな、不安だなと思った時は、ファミワンの「妊活・不妊治療専門家による妊活LINEサポート」を利用してみてはいかがでしょうか。より安心し、見通しをもって過ごせるようになると思います。

ファミワン代表 石川さんから、最後にひと言



東北町のみなさま向けにサポートを提供できていることをとても嬉しく思っています。都道府県や中核都市だけでなく、人口数万人の市町村でも、妊活や不妊治療に関する支援を必要としている人はたくさんいます。声を上げにくく、表面化していないだけで、悩んでいる人は多いのです。今回の経産省の補助事業のおかげで縁がつながり、フェムテックの活用を広げることができ、感謝しています。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

#従業員向け

#オンライン診療

#月経・PMS

#更年期

導入担当者・利用者インタビュー③

従業員向けに専門医によるセミナーやオンライン診療サービスを実施した株式会社LIFEM(令和3年度事業における代表団体は丸紅株式会社。以下、LIFEM)のサービスを導入されたコニカミノルタの方々にお話を伺いました。

※以下、インタビューを実施した令和5年1月時点の情報です。

CASE
03

LIFEMサービス導入担当者

コニカミノルタ健康保険組合

常務理事 鈴木 朗 さん

事務長 淵上 武彦 さん

コニカミノルタ株式会社

コニカミノルタは「新しい価値の創造」という経営理念の下、画像処理を中核とする独自のイメージング技術を活用して、社会やお客様のニーズを先取りして提案できる「課題提起型デジタルカンパニー」を目指しています。

また、「誰もが生きがいをもって暮らせる社会の実現に貢献することが、企業の持続的成長を可能にする」との考えの下、環境保全や従業員の健康増進にも力を入れています。

丸紅株式会社(現 株式会社LIFEM)

「女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する健康課題改善プラットフォーム事業」

丸紅・エムティーアイ・カラダメディカは、幅広い年齢層をカバーする女性の健康課題改善サービスを福利厚生メニューとして、①専門医師による月経・妊娠・更年期に関するセミナー、②仕事の合間時間や自宅等から受けられる医師によるオンライン診療・相談サービス、③低用量ピルや漢方の服薬指導・処方を実施。また専門家監修の効果測定手法を用いて、導入効果を可視化し検証を実施。

右から
鈴木さん
淵上さん



導入したきっかけ・目的は何ですか？

女性活躍推進に関しては、これまでも女性従業員向け研修や男性の育休取得推奨など、間接的な支援施策は数多く実施してきました。一方、社員一人一人の悩みに応じた直接的な支援は提供できていなかったため、効果的なプログラムを模索していたところ、LIFEM社より本プログラムの提案を受けたことが、サービス導入のきっかけです。

本サービス導入の主な目的は、女性社員の健康課題を組織・会社の課題として捉え、心身の健康確保と働きやすい職場環境の整備を実施することです。健康というと男女等しく大事な要素ですが、特に出産や月経、更年期等の女性特有の健康課題は、より仕事のパフォーマンスやキャリアに影響しやすいと思っています。このように、仕事にとっても重要な女性の健康課題のケアについて、全て自己責任とする会社と、支援を用意している会社を比較すると、後者の方が女性従業員のエンゲージメントが高まると考えています。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

導入担当者・利用者インタビュー③

取組の内容や苦労した点があれば教えてください。

まず初めに、医師による女性の健康に係る基礎知識に関するオンラインセミナーを開催しました。男性従業員にもセミナーへの参加を促すことで職場における理解が深まる契機となることを期待し、男女双方に告知を実施したところ、動画視聴を含め延べ700名超のセミナー参加者のうち、約40%が男性従業員でした。その後、当該セミナーに参加した女性の中から、月経プログラム※1と更年期プログラム※2への参加者を募りました。

導入時に苦労したことは、申込人数予測と予算確保です。希望する全ての従業員に対しプログラムの提供をしたい思いはあったのですが、具体的なニーズが読めず、実施規模の見立てと基本予算枠の確保に苦労しました。令和4年度は、コロナ禍による開催イベント減少やオンライン化もありある程度の予算が確保できたのですが、次年度以降の予算枠の算定が継続課題となっています。

社内からの反響はありましたか？

※1,ピル利用に関するオンライン診療サービス ※2,更年期症状に関するオンライン診療サービス

セミナーに参加した男性従業員からは、「女性の健康課題をより具体的に認識することができ、更なる風土醸成の必要性やコミュニケーションの取り方などを学ぶことができて、非常に勉強になった」との声が届いています。この時点で本セミナーを展開できたことは、近い将来、意識の変化のみならず、確実に行動変容にまでつながる大きな転機になると確信しています。

また、月経プログラムと更年期プログラム導入後には、女性従業員の「業務パフォーマンス」と「月経・更年期による不調が影響を与える日数/月」の数値に明らかな改善が見られました。プログラム利用者における中・重度の有症状者※3比率の大幅な減少も見られ、検証データからも業務の生産性に良い影響が出ていると推測しており、実際に、「月経関連の症状に悩むことがほとんどなくなり、仕事に支障が出ることがなくなった」などの声が届いています。※3,中・重度とは、横になって休息したい、1日中寝込む程仕事に支障がある程度の症状をさす。

今後への期待があれば教えてください。

自身や子供の健康に関する医師等による相談窓口や男性の育児支援サービス等が加わると、より個々に沿った支援が充実すると考えます。環境整備を進め、女性が活躍できるステージをさらに広げていくことができればと思います。

鈴田さん
淵上さん
から最後
にひと言

本サービスを導入した一番の動機は、「個人の痛みや辛さを軽減させたい」という想いでしたので、女性従業員の症状の緩和が確認できたことは何より喜ばしい結果でした。プレゼンティーズムの改善にも効果があるという確信も持てましたので、今後の効果検証が楽しみです。

また、なぜ女性特有の健康支援を企業として実施するのかという問いに関しては、「あるべき姿に戻しているだけ」という感覚です。女性も男性も同じ人間ですし、困っている人がいれば手を差し伸べたい、男性特有の課題があれば今後その支援もしていけばよい、と考えています。みんなが幸せに過ごせる環境を作るためにも、引き続き取組を進めていきたいと思っています。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

導入担当者・利用者インタビュー③

LIFEMサービス利用者

コニカミノルタ株式会社

女性従業員 Aさん

(更年期プログラム参加者)

利用したきっかけ・目的は何ですか？

社内メールで案内を受けたことがきっかけで、更年期プログラムに参加しました。以前より月経不順があり、これまでも産婦人科での検診を定期的に受けてきたり、関連する情報を取得したりといったことは行ってきました。更年期に関しては、実は申込時点では自覚できる症状はなかったのですが、母の更年期症状が深刻だったので自分にもそうなる可能性があるのではと不安だったこと、今後の勉強にもなると思い、参加することを決めました。

参加後、ご自身に起きた変化があれば教えてください。

身体には実際さまざまな変化がありました。おなかの張りや月経周期の乱れの症状があり、オンライン診療のサービスを利用して医師に相談をしたのですが、そこで漢方の服用の仕方を変えるなどのアドバイスをいただき試してみたところ、症状が改善したこともありました。

オンライン診療は手軽ですし、医師から自分の症状に即してどのような検査や治療があるのかを具体的に教えてもらえるため、実際に受診する決断にも繋がりました。漢方の服用等、自分では知りえなかった治療法を知り、実際に利用することに繋がったのもよかったです。

今後への期待があれば教えてください。

まずは「知る」ために、たとえば若いメンバーが自身の身体に目を向けるきっかけになるプログラムを準備することも必要だと感じています。また、女性特有の健康課題の解決に資する漢方、サプリメント等の費用や、健康診断における主要検査以外の、例えば更年期に関する検査に係る費用の補助等もあると、より解決行動に入っていきやすくなるのではないかと思います。

Aさんから、最後に一言

若い人ほど自分の身体について興味がないと感じているかもしれませんね。研究職を有するわが社ではたとえば大学院卒など女性の入職年齢が高まるケースも増えていますが、キャリア形成のプランと妊娠・出産～子育てのタイミング、自身の年齢や身体の状態との関係について、正しい知識をもって考えていくことはとても大切であり、若いうちだからこそ、ぜひそこに意識を向けてほしいと願います。

LIFEM担当者 石井さんから、最後に一言



Femtechを活用する企業がまだ少ない時期より先駆けてご一緒にお取り組みを開始し、パフォーマンス向上や理解促進の効果を感じて頂ける結果となり、大変嬉しく思います。コニカミノルタ様のように、エクイティの観点で、働く女性の健康課題を働く職場の課題として捉える企業が1社でも増えると良いなと思います。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

#従業員向け

#オンライン診療

#健康課題全般

導入担当者・利用者インタビュー④

従業員向けに専門医によるセミナーやオンライン診療サービスを実施した株式会社LIFEMのサービスを導入された日本航空株式会社の方々にお話を伺いました。

※以下、インタビューを実施した令和5年1月時点の情報です。

CASE
04

LIFEMサービス導入担当者

日本航空株式会社
人財本部 人財戦略部
D&I推進グループ
アシスタントマネジャー
島 大貴 さん



日本航空株式会社

1951年に日本で戦後初の民間航空会社として創業。近年は、ESG戦略を軸に、「安全・安心な社会」と「サステナブルな未来」を創ることを目標に掲げ、航空事業だけでなく、人流・商流・物流を創出する地域事業や次世代モビリティ、マイルージ事業にも注力。それら事業を支える最重要基盤として、人財育成やDEIの推進にさまざまな観点から取り組んでいる。

導入したきっかけ・目的は何ですか？

JALでは、お客さまに最高のサービスを提供するためには社員やその家族の心身の健康が不可欠だと考えており、「JAL Wellness2025」という健康に関する中期計画を作り、取り組んでいます。今回、その重点項目のひとつである「女性の健康課題」の解決に取り組むこととし、LIFEM社のサービスを実証導入しました。

当社には早朝深夜を含むシフト勤務の職場もあり、時間制約の都合で婦人科への通院のハードルが高いという声もあったことが、オンライン診療を扱っているLIFEM社のサービスを選ぶ理由ともなりました。

導入前に行った社内アンケートでは、月経や更年期など、女性特有の症状により普段通りのパフォーマンスが発揮できないと感じている社員が約半数もいることが明らかになりました。一人一人が自分の健康に向き合うきっかけを作ること、こういった社員の悔しさを解消し、女性が自分らしく働ける環境を作りたい—これがプログラム導入の直接的な目的ではありますが、女性が働きやすくなることは、組織としての生産性向上や、職場全体の働きやすさ向上につながりますので、実はこの取り組みは、男女問わずすべての社員が長く生き生きと働き続ける環境を作るものだと考えています。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

導入担当者・利用者インタビュー④

取組の内容や苦労した点があれば教えてください。

初めに、女性社員の体調が各人の業務に及ぼす影響や、男性社員の女性特有の健康課題に対する認識について実態調査を行いました。その後、当該テーマへの意識醸成をねらったセミナーを3回実施しました。これには約300名が参加し、そのうち、約2-3割が男性社員でした。オンライン診療プログラムについては、今回は特に女性社員の多い部署から参加者を募り、半年間で約120名が参加しました。

導入時に苦労した点は、いわゆる「病気」の予防や治療ではない側面から健康支援を行う意義の説明です。「社員が支援や理解を求めにくい分野の健康課題を解決することで、社員自身が望むパフォーマンスを発揮できるようになる」という考えを軸に、必要性について丁寧に説明しました。また、社員のプライバシーに係る懸念を和らげるために、取組を進める事務局の担当者は必要最低限の人数とし、サービスを利用している社員を特定できないようケアしました。加えて、例えば低用量ピルに対する不安などを持つ社員も見受けられたため、正しい理解促進のためLIFEM社のサービス内容を漫画で解説した案内をイントラネットに掲載するなど、不安の軽減に努めました。

社内外からの反響や参加者の変容はありましたか？

想像以上の結果が出ました。LIFEM社が計測した社員の生産性に係る指標では、例えば、月経プログラム参加者の「月経による不調が1か月のうちに影響を与える日数」に関して、サービス実施前は3.5日以上あったものが実施後には1日以下になりました。

また、各プログラム参加者への事後アンケート結果も高評価でした。男性社員からも「自身も正しい知識を持つことが大事だと分かった」との声が上がるなど、女性特有の健康課題をタブー視しない意識が少しずつ生まれてきていますし、女性社員からはサービスの継続を求める声が上がっています。複数のプログラムがあり、参加者が自分の健康課題に合うものを選べたことが高い満足度の一因かもしれません。

外部からの反響もあり、メディアからも複数取材を受けています。他企業からも、話を聞かせてほしいという相談が多く来ています。

今後への期待があれば教えてください。

今後は本サービスに関わる医師が社員にとってのかかりつけ医のような関係になり、社員が自身の健康課題についてより相談しやすい環境ができることを期待しています。また、昨今男性更年期に対する支援を求める声も上がっており、その支援も検討したいと思います。

このプログラムがきっかけで、利用者本人の労働生産性やエンゲージメントにより影響が生まれているのはもちろんのこと、周囲の社員も含めた社全体のエンゲージメント向上にも繋がっています。

多様な社員がいる中で、それぞれに対して個々にフィットした手当てを行っていくことが、組織全体としてWell-beingを高める秘訣だと考えます。このようなプログラムは、社員が不安なく働き続けられる環境の整備に大きく貢献しますし、定量・定性両面から様々なリターンがある非常に有益なものであると感じています。

島さんから
最後に
一言

03 | 令和3年度事業の利用者の声

導入担当者・利用者インタビュー④

LIFEMサービス利用者

株式会社JALセールス

女性管理職 Aさん

(更年期プログラム参加者)

利用したきっかけ・目的は何ですか？

更年期障害と思われる症状が改善せず困っていた際に、会社の案内でLIFEM社のサービスを知ったのがきっかけで、更年期プログラム※1に参加しました。

プログラムに参加する半年ほど前から体調の優れない日がありましたが、職場ではなかなか気軽に相談できず、病院探しも難航し、「単なる体調不良だから」と我慢できてしまっていたこともあり、受診を後回しにしていました。そんな時、私が一番悩んだ病院探しから実際の受診までをサポートしてもらえこのプログラムを知り、体調を整える良い機会だと思い、参加を決めました。

※1,更年期症状に関するオンライン診療サービス

参加後、ご自身に起きた変化があれば教えてください。

心身共に良い変化があったと思います。肩こりや頭痛などの体調不良が改善されましたし、何より「体調が悪い時は医師に相談できるから大丈夫」と思え、健康に対する不安などの心理的なトラブルで自分の労働生産性が下がることもなくなりました。また、医師とのやりとりで健康に係る意識が醸成されたことで、以前より管理職として部下の体調やモチベーションのフォローに気が回るようになりました。

また、職場の男性社員の変化もありました。私が他のプログラム参加者と病院や処方された薬の話をするのを見た男性社員が、体に関する話に加わるようになり、まるで腰痛の話をするように更年期の話ができるようになりました。健康の話題を中心に職場のコミュニケーションが活性化し、自分の体調について気軽に話せるようになったことで、職場での心理的安全性が高くなったように感じます。

今後への期待があれば教えてください。

更年期に係る症状はこの先も付き合っていかなければならないものなので、自身の体調を意識しながら、隙間時間に気軽に使えるオンライン診療を受け続けることで、元気な状態を維持していきたいです。また、更年期障害は男性にも起きうるものだと理解しています。今後男性社員に対する支援も拡充されれば、女性社員もよりサービスを利用しやすくなっていくのではないかと思います。

Aさんから
最後に
一言

今回のように社員個々の症状に即した支援は初めてでした。会社が社員の健康面まで本気で考えているということを感じ、私自身も組織から期待されていることに応えたいと、より思うようになりました。

本プログラムの導入は、「会社が本気で社員一人一人を大切にしている」というメッセージになると思います。

03 | 令和3年度事業の利用者の声

導入担当者・利用者インタビュー④

LIFEMサービス利用者

日本航空株式会社

女性一般職社員 Bさん

(月経プログラム参加者)

利用したきっかけ・目的は何ですか？

社内の周知文書で存在を知り、関心を持ちました。

低用量ピルの服用で体調の良くなった家族がおり、私もそれに関して医師に話を聞いてみたいと思っていました。ただ、病院探しに苦勞し、コロナ禍で不要不急の通院も避けたかったため、オンラインで気軽に話を聞けるのであればと、月経プログラム※2に参加しました。

※2,ピル利用に関するオンライン診療サービス

参加後、ご自身に起きた変化があれば教えてください。

日頃生活する中で健康に関する情報が目に付くようになり、以前より自身の体調を意識するようになりました。また、本プログラムを通じて、たとえば更年期障害など自身がまだ経験したことのない健康課題を知る良い機会にもなり、家族や同僚など周囲の人々の体調変化に対する私自身の許容度が高まったように感じています。

月経～更年期のプログラムが用意されたことで、会社が若年層から中年層までの長期にわたって社員の健康を考えていることがわかり、今後も自身の健康を大切にしながら働き続けることができそうだと安心できました。

今後への期待があれば教えてください。

私は今回の診察では低用量ピルの服用は不要との診断を受けましたが、たとえばよりエストロゲン量の少ない超低用量ピルの提供が導入されれば、さらにプログラムを利用できる女性も増えるのではないかと思います。今回このプログラムに参加したことで、医師の雰囲気などもわかりオンライン診療を利用する心理的ハードルが下がりました。今後も機会があればぜひ利用してみたいです。

Bさんから、最後に一言

今回のサービスでは、全社員共通ではない、個人でその度合いに差がある健康という課題の解決に社として取り組んだことで、会社が私を「大勢いる社員の一部」ではなく、「一個人」として見てくれているんだと感じました。

お客さまや社会の皆さまに伝わる企業イメージは、社員との接点から生まれる部分が大いだと思いますので、そういった観点でも社員一人一人が生き生きと働けることはとても大切だと思います。

LIFEM担当者 池田さんから、最後に一言



JAL様のように、早い段階から女性活躍の取り組みに力を入れている企業様と一緒することで、我々のサービスの意義を再確認するとともに、サービス内容のブラッシュアップにも繋がりました。より多くの企業様の一助となれるよう、今後もJAL様と共に多くの情報発信を行えればと思います。

04 | お問い合わせ先

本補助事業の内容に関するお問い合わせや、実証への参加希望、貴殿のお取組みとのコラボレーションのご提案等、お気軽にご連絡ください。

担当	フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金事務局 (PwCコンサルティング合同会社)
受付時間	9:15~17:15 (土日、祝日を除く)
メールアドレス	jp_cons_femtech@pwc.com
住所	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi Oneタワー

フェムテック等サポートサービス実証事業の詳細はこちらから！

▼経済産業省HP



<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/femtech/femtech.html>

▼本補助事業のHP



<https://www.femtech-projects.jp/>

Thank you

※本資料は経済産業省令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金の一部として2023年3月31日に作成したものです。

© 2023 PricewaterhouseCoopers Aarata LLC, PricewaterhouseCoopers Kyoto, PwC Consulting LLC, PwC Advisory LLC, PwC Tax Japan. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.

Appendix

実証事業の詳細

経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 01~04

01 働く女性が乳がんを経験しても変わらず働くことのできる場所の提供・雇用と、価格・着心地共にストレスフリーな国産パッド開発								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
					●			
実施体制	代表団体	アポワールドインターナショナル株式会社					実証地域	京都府京都市、大阪府大阪市、東京都渋谷区
	参加団体	-						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社大丸松坂屋 京都乳がんピアサポートサロン 加藤乳腺クリニック京都 NPO法人ピンクリボン大阪 水田乳腺クリニック 						
対象者	乳がん患者		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 乳がん患者用シリコンパッドの販路拡大 乳がん患者用シリコンパッドの開発 乳がん患者および経験者の雇用創出による社会復帰支援 				

03 潜在助産師を活用した、地方における育児期の女性の職場復帰を支援するオンライン相談事業：「The CARE for Community」実証実験								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
		●	●					
実施体制	代表団体	株式会社With Midwife					実証地域	松本市を中心とした長野県全域
	参加団体	国立大学法人信州大学						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 松本市役所 一般社団法人長野県助産師会 						
対象者	復職する意思を有している育児休業中の女性、その家族		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会をモデルとした助産師サービス「The CARE for Community」を実践的に検証 地方における女性の仕事と生活の両立に関する実態調査、および地域の助産師によるオンラインサポートサービスの有用性を検証 				

02 大企業および中小企業の従業員を対象としたライフステージを支える企業内助産師の有用性検証事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●	●	●	●	●		
実施体制	代表団体	株式会社With Midwife					実証地域	関西を中心とした全国(大阪、和歌山、東京、香川など)
	参加団体	東京慈恵会医科大学						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人大阪産業局 近畿経済産業局 株式会社アワーズ アンダーデザイン株式会社 オーツケミカル株式会社 株式会社 F. C. 大阪 株式会社クレディセゾン 株式会社ザ・ゴール 株式会社ジェイアール 西日本ウェルネット 株式会社タワ 株式会社中農製作所 Park KSB パーソルキャリア 株式会社 廣田証券株式会社 株式会社毎日放送 株式会社メルカリ 						
対象者	企業で働く全従業員		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア/メンタル/子育てなどのオンライン相談の提供(24時間365日/専用研修を修了した企業専属の助産師が対応) 健康やキャリアに関するセミナーの実施 				

04 女性の意思決定支援サービスの構築およびライフデザインにまつわる社会環境整備に向けた実証事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●	●	●	●	●		
実施体制	代表団体	一般財団法人ウェルネスサポートLab					実証地域	福岡県福岡市
	参加団体	株式会社YOUI						
	協力団体	福岡女子商業高校						
対象者	20代~50代の社会人女性		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> オンライン相談により女性の意思決定を支援と同時に課題の抽出 産官学連携の検討委員会を開催し、働く女性の抱えるニーズ・課題解決のための社会的要件を整理 整理した働く女性のニーズ、課題を基に啓蒙啓発事業を実施 				

※ 2022年3月8日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 05～08

05 不妊治療患者を対象にした遠隔医療スキームの確立、および、不妊治療啓発の動画コンテンツ作成								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
		●						
実施体制	代表団体	vivola株式会社				実証地域	遠隔医療スキームの確立：沖縄県(本土⇄宮古島)	
	参加団体	●株式会社ライフサカス ●NPO法人フォレシア		●齊藤英和 医師 ●前田恵理 医師			自治体連携セミナー：今治市、徳島市、郡山市、広島県、佐賀県、熊本県および各県(市)	
協力団体	●五十嵐秀樹 医師 ●河内谷敏 医師(神戸元町夢クリニック) ●桑原章 医師(レディスクリニックコスモス) ●徳永義光 医師(空の森クリニック)		●ウエルネスコミュニケーションズ株式会社 ●東京海上HD		健診事業会社(WCC)合同セミナー：全国			
対象者	●不妊治療患者 ●医療機関 ●企業		●遠隔医療スキームを確立し、患者の通院に要する時間削減および医師・患者の満足度を検証 ●動画やリーフレット等のコンテンツを制作し、不妊に関する認知度および理解度の向上を検証					実施概要

06 働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●	●	●	●			
実施体制	代表団体	株式会社Kids Public				実証地域	東京都	
	参加団体	株式会社パソナ						
	協力団体	-						
対象者	女性従業員とそのパートナーや家族(妊娠中と産休・育休中の女性を除く)		産婦人科領域の専門職へのオンライン相談窓口やリモートでの定期面談、定期的な医療・健康情報提供を組み合わせ「オンライン支援プログラム」の効果を検証。オンライン相談は産婦人科医、小児科医、助産師が24時間相談を受け付け。					実施概要

07 産婦人科による働く女性の健康やライフイベントに伴う悩みや不安に関するオンライン相談事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	医療法人葵鐘会				実証地域	愛知県、岐阜県、三重県、静岡県	
	参加団体	-						
	協力団体	中部国際空港旅客サービス株式会社						
対象者	企業に勤務する女性従業員		●助産師、看護師によるオンライン相談サービスの提供 ●サービスの受容度・満足度、健康に対する意識変容、新たな課題やニーズの発掘を検証					実施概要

08 法人向けオンライン女性健康相談サービス「フェムラインかごしま」実証事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●			●	●		●	
実施体制	代表団体	社会医療法人博愛会相良病院				実証地域	鹿児島県	
	参加団体	●医療法人真栄会にいむら病院 ●医療法人浩聖会セイコメディカルビューティークリニック		●株式会社code				
	協力団体	●株式会社明石屋菓子店 ●株式会社指宿白水館 ●株式会社鹿児島銀行		●株式会社南日本総合サービス ●株式会社山形屋 ●鹿児島市				
対象者	一般雇用者、雇用主、管理責任者、非正規職員を全て含む従業員		●地域の医師にオンラインで健康相談ができる法人向けサービスを開発・提供 ●働く女性のウェルビーイング向上と女性が働きやすい企業環境の整備に寄与することを実証					実施概要

※ 2022年3月8日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 09~12

09 生理用品の計量管理による生理周期の把握とデータを活用した健康課題の解決							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●					●	
実施体制	代表団体	シャープ株式会社			実証地域	全国	
	参加団体	-					
	協力団体	-					
対象者	国内の働く女性（社内従業員、一般公募）		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 生理用品IoT収納ケースを用いた「生理用品の在庫管理」、「生理周期の把握」による健康管理の不安や手間の軽減 IoT収納ケースのニーズ調査及びヘルスリテラシー向上の可能性検討 IoT収納ケースにより得られたヘルスデータを活用したサービスの検討及び医療機関等との連携模索 			

11 生命をつなぐ 世代をつなぐ 医療をつなぐ 診療支援システム開発							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社シンフォニア			実証地域	全国	
	参加団体	-					
	協力団体	医療法人秀央会もりレディースクラブクリニック					
対象者	産婦人科で健診を行う女性及びパートナーや家族		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんや母体の情報を正確に把握することで不安やストレスを解消し、出産への希望や幸福感を追求できる支援 診療時に可視化、電子カルテ連携ができることで診療時間の短縮が可能となり、得た時間を活用し妊産婦や患者のQOL向上に向けた手厚い産後ケアへ繋げる 			

10 働く更年期女性がキャリアをあきらめないためのヘルスリテラシー向上・相談窓口事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後鬱	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
				●		●	
実施体制	代表団体	株式会社ジョコネ。			実証地域	全国	
	参加団体	-					
	協力団体	大手メーカーの社内コミュニティ					
対象者	事業会社の従業員		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 更年期女性とその周囲が知っておくべき内容に関するオンラインセミナーの実施 更年期症状向けのLINE等を用いたオンラインカウンセリングの実施 カウンセリングの上、解決策をオンラインで提供 			

12 妊活・不妊治療と仕事の両立を支援する妊活サポート事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社ステルラ			実証地域	東京都、神奈川県、大阪府	
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> メディカルパーク横浜 松本レディースリプロダクションオフィス 					
	協力団体	-					
対象者	企業で働く妊婦を考えている男女		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> セミナー/ウェビナーを行い、社内での理解を促進 オンライン相談による妊活・不妊治療を行う当事者のサポート 			

※ 2022年3月8日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 13~16

13 更年期ケアの重要性を可視化し、社会へ啓蒙@渋谷区@神戸市 自治体連携							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
				●		●	
実施体制	代表団体	株式会社TRULY			実証地域	東京都渋谷区、兵庫県神戸市	
	参加団体	-					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社朝日新聞社 東京都渋谷区 兵庫県神戸市 	<ul style="list-style-type: none"> 医師 宋美玄 医師 予防医学研究者 石川善樹氏 				
対象者	渋谷区の30~50代女性およびパートナーや家族、会社の上司などの男性		実施概要	「チャット健康相談サービス」を活用した、渋谷区、神戸市との実証実験			

15 個人・企業のヘルスリテラシー向上と日本の8割の雇用を支えるローカル経済圏でのフェムテック普及展開の仕組みの構築に向けた実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社陽と人			実証地域	福島県、東京都	
	参加団体	-					
	協力団体	-					
対象者	個人、企業(女性社員、マネジメント層)		実施概要	自社製品に関連するサービスを活用し、①女性の潜在的ニーズの掘り起こし及び②東京と地方の情報・製品・サービスアクセス格差改善を実証			

14 女性のライフプランとキャリアの両立支援事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社ninpath			実証地域	東京都(中央区、渋谷区、板橋区、墨田区)、長野県長野市、福岡県福岡市	
	参加団体	株式会社アスアス					
	協力団体	-					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 「不妊治療と仕事の両立支援制度」の導入を検討している中小企業 上記企業に属する従業員および家族やパートナー 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療のために利用可能な休暇制度・両立支援制度の整備コンサルティング 女性のキャリアとライフイベントに関するセミナー・ワークショップの開催 希望者に妊孕性検査の実施やライフプランニング支援 検査結果に応じて、不妊治療に関する情報提供 			

16 自治体と連携した 1. 妊活・不妊治療の当事者向けサポート 2. 妊活・不妊治療を支える周囲のサポート啓蒙							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●		●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社ファミワン			実証地域	全国	
	参加団体	-					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 自治労北海道 福島県国見町 栃木県 群馬県邑楽町 東京都荒川区 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都渋谷区 東京都杉並区 東京都調布市 神奈川県横須賀市 	<ul style="list-style-type: none"> 島根県知夫村 広島県三原市 長崎県 株式会社Public dots&Company 			
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 当事者および家族やパートナー 妊活前のカップル 同僚、上司等 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> LINEを使った妊活・不妊治療相談の提供 妊活をしている方、不妊治療を受ける方、これから妊活をしようと考えている方など当事者をサポートするセミナーを自治体と連携して実施 			

※ 2022年3月8日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和3年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 17~20

17 日常生活の中で簡便に自身の疲労度・ストレスレベルを可視化し、リアルタイムで感覚刺激を通じた解決を行うアプリ「me-fullness」による、働く女性の疲労・ストレス緩和ソリューションの実証事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
							●	
実施体制	代表団体	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス					実証地域	徳島県徳島市、大阪府
	参加団体	ポーラ化成工業株式会社						
	協力団体	徳島県徳島市						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 疲労・ストレスレベルが蓄積した女性およびパートナー 地方自治体関係者 		実施概要 アプリ「me-fullness」により、顔や肌から疲労・ストレスレベルを客観的に定量化し、自身の状態になりたい状態に合わせて、最適な状態へ導く五感刺激及びそれらを組み合わせたコンテンツの効果検証					

19 周産期遠隔医療プラットフォームを活用した仕事と安全な妊娠・出産の両立にかかる実証事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
		●				●		
実施体制	代表団体	メロディ・インターナショナル株式会社					実証地域	北海道(余市町、後志地域、小樽市)、香川県(高松市、観音寺市)
	参加団体	●余市町	●北海道社会事業協会小樽病院(小樽協会病院)					
	協力団体	●北後志消防組合		●小樽消防組合				
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦とパートナー 医師、助産師 自治体職員、救急隊員 		実施概要 周産期遠隔医療プラットフォーム「Melody i」と、モバイル胎児心拍陣痛モニター「分娩監視装置 iCTG」を活用した、出張妊婦健診や在宅妊婦健診の効果検証					

18 女性社員が入社からリタイアまでいきいきと働ける環境を実現する健康課題改善プラットフォーム事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●		●		●		
実施体制	代表団体	丸紅株式会社					実証地域	全国
	参加団体	●株式会社カラダメディカ ●株式会社エムティーアイ						
	協力団体	-						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性従業員 男性従業員 管理職、女性管理職の活躍に課題意識を持つ経営層 従業員のパートナー 		実施概要 入社からリタイアまですべての年齢層をカバーする女性の健康課題改善サービスを福利厚生メニューとして提供 <ul style="list-style-type: none"> ●専門医師による月経・妊娠・更年期に関するセミナー(効果：本人、周囲の社員のリテラシー向上/啓蒙) ●仕事の合間時間や自宅等から医師の相談・診察等を受けられるオンライン相談・診療サービス(効果：産婦人科受診ハードルの引き下げ、通院時間・コストの削減) ●低用量ピルや漢方の服薬指導・処方(効果：薬剤受取りの時間・コスト削減、健康課題の具体的な改善) また、専門家監修による効果測定手法を用いて、人事部・健康保険組合等のための導入効果の可視化・検証サポートまでを行う					

20 女性従業員と企業へのワンストップソリューション伴走支援による女性の健康課題解決と就業継続促進に向けた健康相談並びにセミナー事業								
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社SUSTAINABLEME					実証地域	京都府京都市
	参加団体	一般社団法人日本産前産後ケア子育て支援学会						
	協力団体	-						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性従業員およびパートナー 管理職 		実施概要 ●ライフステージに応じた健康セミナーや座談会の開催					

※ 2022年3月8日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 01～04

01 最短期間で最大の効果を上げる不妊治療プロトコルを提案するA I (人工知能)サービス							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
実施体制	代表団体	株式会社iCaret					
	参加団体	-					
	協力団体	・システムロード株式会社		・木場公園クリニック			
実証先	<ul style="list-style-type: none"> ・当社内 ・医療機関 ・不妊治療に取り組んでいるカップル 						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・生殖医療関連医師と医療機関 ・電子カルテ事業者 ・不妊治療に取り組むカップル ・妊娠出産を検討している女性 		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模不妊治療データのデータ解析とA Iモデルの設計と構築 ・患者データを用いた不妊治療AIモデルの実証と評価 ・女性のライフステージにおける不妊治療AIモデル活用のインバクトの試算 				

02 セルフトレーニングをサポートする「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニング							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
実施体制	代表団体	アルプスアルバイン株式会社					
	参加団体	・学校法人 甲南女子大学		・In MuSE.合同会社			
		・江川産婦人科					
	協力団体	・株式会社アルプス物流					
実証先	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社アルプス物流(神奈川県) ・全国の企業・組織 						
対象者	産後、更年期による尿失禁症状に悩む女性従業員		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> セルフトレーニングをサポートする「ペリノス™」とトレーナー指導の組み合わせによる骨盤底筋トレーニングにおける運動の継続性を支援する効果的な施策等の実証 				

03 妊活・不妊治療におけるパートナーシップ構築を目的としたコミュニケーション促進リユースの効果検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
実施体制	代表団体	vivola株式会社					
	参加団体	帝人株式会社					
	協力団体	-					
実証先	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の妊活に取り組んでいる／不妊治療をしている個人 						
対象者	妊活に取り組んでいる不妊治療をしている夫婦およびカップル		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・妊活、不妊治療における情報提供、およびカップル間の価値観の相違を可視化し、行動変容を促進するアプリの作成・提供 ・上記のインプットとして、行動の阻害要因に関する調査を実施 				

04 ヘルスリテラシー向上(知識の獲得から行動改善まで)を通じた働く女性と組織の活性化をサポートする『トータルウェルネスプログラム』							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
実施体制	代表団体	株式会社SRACreative					
	参加団体	・株式会社MYPLATE		・CLINIC TEN SHIBUYA			
		・株式会社SEVENRICH Accounting					
	協力団体	・株式会社TesTee		・株式会社BonBon			
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 全国の企業・組織 						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・女性社員・男性社員・管理職 ・PMS・PMDD/生理トラブル/更年期障害に課題を抱える就業女性 		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> ・医師共同制作のヘルスリテラシーテストの実施 ・個人(女性社員、男性社員・管理職)/組織のヘルスリテラシー向上に向けた課題の抽出 ・上記課題の改善に向けたアクションの提案(対個人/対組織)、サービス導入のサポート実施 				

※ 2023年3月10日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 05～08

05 働く更年期女性の睡眠を可視化したリトリートプログラム実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
				●			
実施体制	代表団体	沖縄セルラー電話株式会社					
	参加団体	株式会社ACCELStars		HerLifeLab株式会社			
	協力団体	Naoko女性クリニック					
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社沖縄銀行(沖縄県) 株式会社沖縄海邦銀行(沖縄県) 			<ul style="list-style-type: none"> 株式会社琉球銀行(沖縄県) 沖縄セルラー電話株式会社(沖縄県) 			
対象者	不眠に悩む更年期の女性従業員	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 不眠症状者を睡眠データが計測できるウェアラブルデバイスを活用して特定し、オンラインとオフラインの併用によるハイブリッド型リトリートプログラムにて解決 症状に応じて婦人科によるオンライン相談が可能 				

06 あらゆるトイレの個室にて生理用品を取得可能にするなど「生理ライフ」を快適にし、生理になる人のモビリティを向上							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	●
実施体制	代表団体	オモテテ株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	東日本旅客鉄道株式会社		三菱地所株式会社			
		株式会社ルミネ		scheme verge株式会社			
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 東日本旅客鉄道株式会社(東京都) 株式会社ルミネ(東京都) 			<ul style="list-style-type: none"> 三菱地所株式会社(東京都) scheme verge株式会社(東京都) 			
対象者	オフィス利用者	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> トイレ内に設置するハードウェアと在庫等を管理するアプリケーションを連動した「unfre. (アンフリ)」サービスの開発 導入先企業へ、設置前後でアンケート・インタビュー調査を実施 				

07 新入社員向け「女性特有の健康課題に関するeラーニングプログラム」の開発と検証							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●			●	●	
実施体制	代表団体	株式会社Kids Public					
	参加団体	-					
	協力団体	-					
実証先	全国の新入・若手社員を抱える企業						
対象者	新卒入社1～5年目(もしくは社会人歴5年目まで)の男女社員	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 女性の健康課題に関するeラーニングツールの開発 対象者により上記のeラーニングを期間内に計2回実施 オンライン相談(産婦人科オンライン、小児科オンライン)を希望する参加者へ提供 				

08 オンラインコミュニティを使った「女性特有の健康課題や働き方について語り合う」プラットフォームの構築・運用と情報発信事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社産業経済新聞社					
	参加団体	さんぎょうい株式会社					
	協力団体	-					
実証先	全国の個人						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性特有の健康課題や働き方の問題に関して興味関心のある女性・男性 メトロポリターナ読者 産経新聞読者 	実施概要	<ul style="list-style-type: none"> オンラインコミュニティ「フェムトーク」の構築と運用 「フェムトーク」運用により得られた知見等についてメトロポリターナで情報発信、読者アンケート企画の実施 同上の知見等について、産経新聞紙面で情報発信 同上の知見等についてのセミナー開催 				

※ 2023年3月10日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 09~12

09	就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、専門家「助産師」とAI(声解析)による継続的なサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
		●	●					
実施体制	代表団体	株式会社じよさんしGLOBAL Inc.						
	参加団体							
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> オーエスジー株式会社 豊島株式会社 株式会社名古屋銀行 神戸商工会議所 	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県 神奈川県小田原市 愛知県刈谷市 愛知県豊橋市 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社メンタルサポート研究所 倉成 央博士(臨床心理士) 江村 和世 医師(精神科医) やまがたてるえ氏(助産師・チャイルドファミリーコンサルタント) 				
実証先	<ul style="list-style-type: none"> オーエスジー株式会社 豊島株式会社 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社名古屋銀行 自治体等からの公募 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 就労妊婦とそのパートナー 就労妊産婦を部下に持ったことがある上司 		実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 就労妊婦等向けオンライン相談 就労妊婦等とパートナーに向けたセミナー 就労妊産婦を部下に持ったことがある上司の支援 結果のフィードバックセミナー 				

10	助産師・保育士が24時間体制で産後の親子をサポートする産後ケアリゾート「HOTEL CAFUNE」及び継続的なサポートのニーズ検証と産後ケアの社会認知度向上の実証実験							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
		●	●					
実施体制	代表団体	株式会社水星						
	参加団体	—						
	協力団体	—						
実証先	HOTEL CAFUNE(神奈川県川崎市)							
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 産後直後～12カ月程度の首都圏近郊在住の女性とそのパートナー 女性とその家族 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊型産後ケアサービスの提供とその後の継続的なサポートの構築 上記による女性のQOL向上への有用性検証 産後ケアの社会認知度向上に向けた調査と情報発信 				

11	女性特有の出産育児のライフイベントや健康課題を乗り越え能力を最大限発揮できる新しい時代を実現する「『TOTONOERU@』(トノエル)」を活用したレジリエントな企業基盤構築支援事業ver.1」							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●		●				●	
実施体制	代表団体	株式会社天煌堂						
	参加団体	株式会社actor						
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県飯塚市役所 アストラゼネカ株式会社 CICJapan合同会社 株式会社トラバンツ 	<ul style="list-style-type: none"> 日本生命保険相互会社 株式会社ビクニックルーム 株式会社ヘルシステム24 VentureCafeTokyo 	<ul style="list-style-type: none"> BOKKSU INC マックスバリュ・ヴィクトリーナ NPO法人未来経験プロジェクト(Coe) 				
実証先	協力団体に同じ(秋田県、東京都、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、福岡県)							
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 女性従業員 男女管理職 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 月経・更年期における課題、出産・育児におけるパフォーマンスの課題の解決に資する起電する衣類「3e-EARTHING衣類」の提供 職場のコミュニケーション課題の解決に資する脳医科学診断とコーチングプログラム「ノウセツ」の提供 				

12	未病状態のからだケア 素材～製品・サービス異業種連携でのワークショップを通じた行動変容プログラムの提供							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他	
	●					●		
実施体制	代表団体	東レ株式会社						
	参加団体	<ul style="list-style-type: none"> あすか製薬株式会社 株式会社ネクイノ 	<ul style="list-style-type: none"> プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社 株式会社 東レシステムセンター 					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人メディカル・フェムテック・コンソーシアム 滋賀医科大学 北原照代特任准教授 昭和大学薬学部 佐藤均教授 						
実証先	<ul style="list-style-type: none"> 東レ株式会社(東京都) あすか製薬株式会社(東京都) 		<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ネクイノ(大阪府) プレミア・ウェルネスサイエンス株式会社(東京都) 					
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員(男女問わず) 月経関連の不調を有する20～30代の女性従業員 		実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 東レ株式会社と参加企業へ被験者抽出のためのアンケート実施 被験者へワークショップ(①ヘルスリテラシー向上セミナーと専門家との座談会、②製品・サービスの体験)を提供 デジタル・ウェルネスプラットフォーム(DWP)の要件定義 				

※ 2023年3月10日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 13~16

13 データ収集プラットフォームを通じた企業のフェムテック導入促進事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	
実施体制	代表団体	株式会社nanoni					
	参加団体	-					
実証先	全国の企業						
	対象者	国内の企業1000社					
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 企業のフェムテック検討状況についてヒアリングを実施し、経営アジェンダとの関連性を可視化 carefullの導入とアンケートの実施 						

14 不妊治療当事者のウェルビーイング向上のための心理ケア事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
		●					
実施体制	代表団体	株式会社ninpath					
	参加団体	-					
実証先	宮城仙台市 ● 富山県 ● 神奈川藤沢市 ● 神奈川県藤沢市 ● 一般公募						
	対象者	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療中～治療前後の住民を抱える自治体 仕事と治療の両立に悩む女性とそのパートナー 					
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 自治体・一般公募を通じ、不妊治療中～治療前後の女性やそのパートナーに対して、下記のスマートフォンアプリを用いて心理ケア支援サービスを提供 スマートフォンアプリ「ninpathケア」の機能(メンタル状態のモニタリング・セルフケア、医師等へのうつリスク通知、オンラインカウンセリング)を追加 						

15 フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業～gender learning innovation～							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●		●		●	●
実施体制	代表団体	株式会社陽と人					
	参加団体	株式会社ライフサカス					
実証先	富山県 ● 群馬県安中市 ● 群馬大学大学院保健学研究所 恩幣宏美准教授 ● 長野県佐久市 ● カゴメ株式会社 ● Zホールディングス株式会社 ● 浜松いわた信用金庫 ● ライオン株式会社 ● 長野県佐久市 ● 長野県佐久市 ● 浜松いわた信用金庫(静岡県) ● ライオン株式会社(東京都) ● Zホールディングス株式会社(東京都)						
	対象者	経営マネジメント層 ● 人事部 ● 新規事業開発部門 ● 女性従業員					
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> アンケートとヒアリングを行い、プログラム構築の前提となるフェムテックに関する各社のニーズを整理 上記結果を踏まえ、アクティブラーニングの手法を取り入れた新しい学び方のプログラムを設計・構築、実証 						

16 アバターを活用した専門家による働く女性のウェルビーイング向上のためのサポート実証事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●		●	
実施体制	代表団体	株式会社BRING					
	参加団体	一般社団法人 女性の健康推進協会					
実証先	全国の働く女性および男性						
	対象者	20代～50代の働く女性 ● 妊娠・出産・子育ての中の働く女性とパートナー ● デリケートな課題を抱える働く女性とパートナー					
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関するライブ配信・アーカイブの実施 助産師によるアバター相談カウンセリングを提供し、相談時等のアバター活用の優位性を検証 						

※ 2023年3月10日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す

経済産業省 令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金 実証事業一覧 17~19

17 身体症状と音声の分析を用いたヘルスケアとキャリア支援を繋ぐ仕組みづくり							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●	●	●	●	●	●	●
実施体制	代表団体	一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション					
	参加団体	-					
	協力団体	・日本生命 佐賀支社 ・明治安田生命 佐賀支社 ・佐賀市役所					
実証先	・日本生命(佐賀県) ・佐賀市役所(佐賀県)			・明治安田生命(佐賀県) ・一般公募			
対象者	女性従業員	実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 音声計測によるその日の心の状態見える化するツール実装 健康・妊娠や働き方に関するランチtimeウェビナー開催 ヨガやマインドフルネス、心身の不調をケアするオンラインレッスン開催 健康・子育てやキャリアに関する専門家へのチャット・オンライン相談提供 					

18 運動後の爽快感が味わえる「次世代EMS」を活用した、働く女性のメンタルヘルス・パフォーマンス向上事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●			●			●
実施体制	代表団体	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス					
	参加団体	・株式会社おせっかい倶楽部		・ポーラ化成工業株式会社			
	協力団体	・上馬整形外科クリニック		・京都大学医学部 婦人科学産科学教室 女性健康医学研究室			
実証先	都心のメンタルヘルスに課題を有する働く女性						
対象者	メンタルヘルス(PMSや更年期の課題・症状含む)に課題感を抱いている働く女性		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 大きな筋肉を効率的に刺激する次世代EMSが働く女性のメンタルヘルス課題を解消し、パフォーマンス・well-beingに貢献することを臨床試験により科学的に実証 次世代EMSを一定期間使用した試験参加者へのデブインタビュー 				

19 女性活躍を推進するための生理用品設備設置とコミュニケーションをデザインする教育事業							
テーマ	月経・PMS	妊娠・不妊	産後ケア	更年期	婦人科疾患	ヘルスリテラシー	その他
	●					●	●
実施体制	代表団体	わたしの暮らし研究所株式会社					
	参加団体	-					
	協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ふしぎデザイン株式会社 NPO妊婦のぐらし 株式会社丸和 株式会社山崎製作所 		<ul style="list-style-type: none"> JST COI-NEXT「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」(代表機関：北海道大学) JST COI-NEXT「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」(代表機関：慶應義塾大学) 			
実証先	全国の企業、教育機関						
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 従業員(男女問わず) 管理職 生理用品設備導入企業 小学生、中学生、高校生、大学生 		実施概要 <ul style="list-style-type: none"> 共創するための女性活躍推進セミナー実施 トイレへの生理用品設備設置支援 導入企業間のコミュニティ運営、情報発信 青少年教育で活用できる教育ツール作成 				

※ 2023年3月10日時点の各事業報告書より、事務局にて整理した情報を記載
 ※ 参加団体とは、代表団体の協業者として、本補助事業全体の推進に当たる団体を指す
 ※ 協力団体とは、実証フィールドの提供や事業活動へのアドバイスなどにより、本補助事業を支援する団体を指す